

準備工	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し	重篤度	可能性の割合	リスク評価	優先度	リスク低減措置
準備工	<p>作業については各作業手順書を確認</p> <p>機器の確認</p> <p>・操作者は取扱説明書をよく読み、取り扱い方法を理解する。 ・センサー/受信機の使用数量を決定【最大1受信機あたり4センサー接続可】 ・挟まれ防止装置の電源が入るか確認 ・受信機用発信機・延長コードが正常に稼働するか確認 ・センサー→受信機を接続しセンサーが検出するか ・受信機のハットライトブザーが作動するか確認</p>							
センサー・受信機設置	<p>センサー・受信機の設置位置確認</p> <p>・現地状況に併せて設置位置を決定する。 ・マグネットでの設置となるため鋼板部を選定する。 ・基本的な設置位置 ・受信機:操作者から見やすい位置に設置(バケット内など) ・センサー:構造物への接近を検出できる箇所(ブーム先端部など)かつ設置・調整が容易な箇所が望ましい ・マグネットにて取付けし、二重の落下対策として付属のワイヤーを設置する。</p> <p>センサー・受信機の設置</p> <p>・試運転</p> <p>・発信機⇒受信機の順に電源を入れ接続完了まで待つ。 ・接続完了後、発信機に手をかざしハットライトブザーが作動するか確認。 ⇒作動した ⇒ OK ⇒作動しない ⇒ 再度電源を入れなおす。 ・発信機の角度・検出範囲を調整し、実際に構造物を検出するか確認する。 ※作業環境にもよるが、センサー検出した時点の機械と構造物の離隔は最低約50cm確保すると望ましい。</p>	センサー等の落下リスク	3	2	5	III	付属のワイヤーを設置し、二重の落下対策をする	
高所作業	各作業手順書準拠							
センサー・受信機撤去	<p>センサー・受信機の撤去</p> <p>・センサー/受信機の数量を確認し、撤去忘れを防止する。</p>							
作業終了と後片付け	<p>終礼の実施</p>							

注意事項

強風・大雨・大雪等の悪天候時には、作業を行わない
 高所作業車の乗車席・作業床に定員以外の人を乗せない
 高所作業車を主たる用途以外に使用しない
 落下物のある恐れのある時は、デッキ内に飛散防止ネットを設置する

ワイヤレスマルチセンサー
せっち楽助II

取扱説明書

ご使用前に必ず本書をお読み下さい。本装置は、安全補助装置であり、作業者は厳格な安全確認を必ず行ってください。警報が鳴った際は必ず直ちに一旦停止させ、目視で安全を確認して下さい。

I. 各部名称



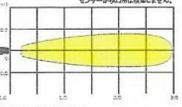
※使用電圧によりケーブルが異なります。

II. 製品仕様

無線受信コントロールBOX		無線受信コントロールBOX	
型 式	OM-AM/BT	型 式	OM-BFL
機 体 厚 度	0.2m~3.0m ※フック上に付く標準品	プ ザ ー 音 量	105dB
バ ッ テ リ ー 容 量	5V 6.5Ah	音 源 部 用	LEDフラッシュ
蓄 電 使 用 時 間 / 充 電 時 間	約20時間 / 約4時間	電 圧 電 流	AC100V DC12/24V
充 電 方 式	Micro USB	充 電 電 力	5W以下
本 体 質 量	230g (フックなし)	検 出 感 度 測 定 距 離	約40m (逆外見通し)
		本 体 質 量	980g

ヘルメット振動器(オプション品)		ヘルメット振動器	
型 式	OM-VCL	型 式	OM-VCL
プ ザ ー 音 量	105dB	音 源 部 用	Micro USB
電 圧 電 流	DC5.7V LL-Ps	検 出 感 度 測 定 距 離	約40m (逆外見通し)
本 体 質 量	35g	本 体 質 量	35g

センサー範囲



III. 設置及び操作説明

① センサー設置方法

センサーを任意の位置にマグネットもしくは付属クランプで取付けます。付属クランプはマグネットクランプを後方へ逃がし、センサー下部のホルム穴に取付けて下さい。設置の際は、必ず付属されている落下防止ワイヤーを取付けてください。



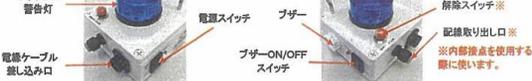
② センサー使用方法

センサーの電源を入れて下さい。センサー範囲調整および任意の範囲に設定して下さい。
 <電源スイッチ> <センサー調整つまみ>
 ・センサー範囲は0.2m~3.0m、距離設定が可能です。



③ 無線受信コントロールBOX使用方法

電源が必要です。ご使用の電源(AC/DC)に合わせてケーブルをお選び下さい。マグネットにて任意の場所に取付けます。落下の危険が想定される場所では落下防止ワイヤーをご使用ください。



④ ヘルメット振動器(オプション品)使用方法

ヘルメット装着写真
 ヘルメット装着写真
 ON/OFF
 電源スイッチ

⑤ 電源投入方法

電源スイッチを入れる際は、1「センサー部」をまもって⇒2「無線受信コントロールBOX」及び「ヘルメット振動器」の順で入れて下さい。1-2の順番でスイッチを入れると送受信リンクの設定時間は30秒、2-3-1の順番は15秒程度短くなります。設定完了はセンサー部分の



<設定完了時>
 送受信リンク設定が完了すると、センサー下部ランプ(右側)が点滅します。その後、センサーが検知するとこのランプが点灯します。

⑥ 充電方法

付属のMicro USBケーブルを接続して必ず室内で充電して下さい。充電ランプ紫色が充電中、緑色が満充電です。



※長期閉鎖使用がない場合は満充電で保管でき、定期的に補充電を行ってください。

IV. 使用上の注意

- センサー部に汚れが付着すると誤作動の原因となります。ご使用前に必ず付着物がないか確認してください。
- 本装置は防滴仕様ですが、防水仕様ではありません。大雨や水中、高圧洗浄での環境下では故障・事故の原因となります。
- 感電の恐れがありますので、ケーブルの抜き差し時は水分がない状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、強い衝撃を与えないでください。
- 本機は安全補助機器です。事故等の補償は行いません。
- 故障や不具合が疑われる際は直ちにご使用を中止し、お近くの西尾レントールまでお問い合わせください。